PICKIN' SINGIN' GINZA
Rocky Top かわら版 第65号
'01, 4, 2 発刊

Yeah! マネージャー No24
ピーン事件　作. チーフ井上

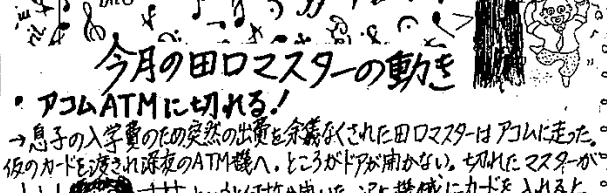
拝啓 april

4月. 新年度のスタートです. 太陽が優しく降り注ぐ中. 希望に燃えてはつらつといたいものです. 何方に期待したり. 頼るのではなく. 自分の足でしっかり歩いている実感こそ幸福なんだなーと思います. いい事も嫌な事も全てこの優しい太陽のように丸ごと包みこんでいこう!

今月の田口マスターの動き

• アコムATMに切れる!

→息子の入学費のため突然の出費を余儀なくされた田口マスターはアコムに走った. 彼のカードを渡され深夜のATM機へ. ところがドアが開かない. 切れたマスターがというと何故か開いた. 次に機械にカードを入れると「お取扱いできません」と出る. 「バカヤロー」と怒鳴ると何故か作動するという不思議なことが起きた. あまりのせっぱつまり方に機械が同情したのかもしれない.



• 大ヘビに追い回される夢を見る!

こないだボアという大ヘビに追い回される夢を見た. 今はもうお父さんのいる実家に逃げこむがお父さんは助けてくれない. ヘビはいつの間に見知らぬ子供に変身していたのだが. それに殺虫剤をかけまくるという不気味な夢だ. さきの夢を大げさに悪くとっちゃいけないよ」といった夢診断が考えられる. ヘビをよく見ると. 実はこんな顔をしていたかもしれない.

気をつけよう!! 怪我人続出のブルーグラス界

何のたたりか? 2月から3月にかけブルーグラス界に怪我人が続出している. フィドラーの瓶園さんはチャリンコ運転中車に巻きこまれ左指を骨折. バンジョーの吉岡さん. 長谷川さん(現ジェラルスト)は2人とも仕事中に指を負傷. 東京ブルーグラスファームのメンバーの方も2名ほど骨折せしめたときいています. カントリー界でもケイコウチャーカーが足を骨折してしまい! 回復まで相当時間がかかるようです. とにかく気をつけよう! 不気味なくらい怪我が集中しています. 春先で気がゆるんでくる頃だけに…. 小柳さんの生き霊では? という噂もあります.

スタンレー丸山も負傷! バンジョー休止

越田のギブソンバンジョーを受けつぎ「ディキシーフォーダウン」を弾き出した金髪のバンジョー弾きスタンレー丸山が先日ロッキーで皿を取ろうとして腰を痛めるという. 何とも若さが感じられない事件が起きた. しばらくは身動きがとれず. 朝も起きれない状態で当然重たいバンジョーなど持てるはずもなく. しばらく練習を休止している. 箱根フェスに向けて早く復帰してほしいものだ. 周囲は盛上がり. バンド名まで決まっている. **スタンレー丸山とウスバンボーズ** だ!

チーフ井上の北朝鮮紀行⑦

〜保育園. 少年少女コンサートを見て〜

平壌の保育園に行った. 平壌はただでさえ北朝鮮のエリートしか住めない所. その子供達の英才教育なのだ. よってそれはそれはすごかった. 習字、琴、歌唱、水泳などグループに分かれそれぞれの教室で学んでいた. 全て型にはめようとする教え方で. かなり厳しかった. 歌いながらみんな笑っているのだが. それがいかにも作り笑顔. 曲順は明らかすがすがしい. 「どんな詞なの?」とガイドにきいた. 「野イチゴとれたよ. いっぱいとれたよ. 金日正さんが持って来てくれたよ」だと教えてくれた. ため息…. 水泳をやってる子供達に手をふると. みんなこっちに元気一杯手をふってくる. それは本当に素直な反応で. めったに会えない異国の俺達に興味津々なのだ. あまりに可愛いので俺は調子に乗ってプールサイドまで行っておどけてたら女の先生に「そろそろ出て行ってくれ」と怒られてしまった. 次に少年少女コンサートを見た. それもすごかった. 歌ッサカス国のようだ. 不思議な歌. 演奏. 踊りだが全て不自然で何かに統率されている不気味さがあった. そして合間合間にバックスクリーンに金日正の写真が現れると会場全員でスタンディングオベーションというものを演出. TV朝日のインタビューで「少しと言えばそれはあるけど個性が全くない」と答えたのが後日テレビで流れた. しかしそんな北朝鮮なのに彼らの中にいるとこれもいいのかなって気もしてくる. だって日本だってお金なんてものに統率されてるわけだし…

21世紀に残したいロッキートップ世紀末事件簿
「苦悩の日々」　今回はマジに…

→ロッキートップは始め学生で持ってるような店だった. 多くのお客さんは神保町ブルーグラスインに出入りしてたため. まだステイタスのないロッキートップは出演者さえ集まらない状況. よって学生バンドを中心に営業するしかなかった. 来店するお客さんもお金のない学生達ばかり. 安いチャージで飲み放題にした. 確かにお客さんは集まったが. 毎晩. ひどい酔っぱらいばかりでしかも店はもうかりなかった. そこで飲み放題をやめると今度は閑古鳥が鳴き. 人っ子一人来ないような状態. 当時のバイトに「マスター. ここは墓場のように静かですね」と言われたのが今でも痛みとして小柳さんの胸に残る. そこで思い切って1ヶ月店を休み. バンドの人達に相談するなど. 次の策を練った. その苦悩の日々が今のロッキートップのスタイルを作ったと言えるだろう。今ずっと有名なバンドもロッキーに出るようになり. 一般のお客さんも増えていった. 今でもたまに当時学生バンドでやってた人が10数年ぶりにすっかりいいおっさんになってロッキーに飲みに来ることがある. 南ロー番「へ〜まだこの店やってたの〜」驚きと懐かしさに満ちた顔でうまそうにバーボンを飲み. ブルーグラスに耳をしゃぶりつくしてくれる. 「またバンドやりたくなっちゃったけど子供も大きくなってねー」と話す姿にその人の物語を感じます. 過去と現在を交ぐ. ロッキートップの存在は大きいんだなーと実感します. だからこそ未来に向かって. あの苦悩の日々をバネに頑張っていかねば…と思う今日この頃です.

Yeah! マスター
詞・曲 チーフ井上 (1st.アルバム「100万回愛してる!!」に収録)

1 いつでも真剣しかな顔をして
それでも突然僕らを驚ろかすのさ
しゃべるのは苦手だと言いながら
下手な冗談で和ませている
※マスター愛すべきマスター
マスター愛すべきマスター
マスターの思いは誰にも分かりはしない

2 ロッキートップの夏打きは
雨が降ったり晴れわたったり
20年そうこの20年
季節が何度※過ぎたんだろう

3 時代がどんなに変わっても
変わらないものが一つだけあるなら
マスター あなたの不器用な
優しさ それだけはいつでも同じ※

4 心が乾いてしまった時
笑うぎさえも消えてしまう時
一番大切なものを忘れたら
銀座七丁目ロッキートップへおいで※